

外務省發言察史

在九江領事館

支那部

發生シ死亡者十四、五名ヲ算スル有様ニテ收容患者モ今尙百數十名アリ數箇所ニ收容セル支那難民ノ自由交通ハ勿論内外人ヲ不問軍關係以外一切ノ者ノ交通制限シテ之ガ防過ニ努メツツアリ、累計患者七百内外死亡約四百名ニ達セリ

十月三十一日左記巡查二名南京ヨリ着任ス

巡查 加藤 龜雄

同 内田 清

十二月一日附

警部補 松浦 藤一郎

在九江領事館警察署長ヲ命ゼラル

十二月一日附

...

部長 松村幸次郎

巡查 清田明

同 藤田孝一

在九江領事館警察署勤務命ゼラル

十二月一日午前十一時官邸庭前ニ在九江警備隊、兵站、碇泊場、

第二十一水雷隊各司令其ノ他陸海軍並ニ在留民代表者及館署員約

四十名集合國旗掲揚君ケ代合唱ノ後領事代理小森喜久壽ハ當館開

館ニ至ル迄ノ經過並ニ今後ノ方針等ニ付挨拶ヲ爲シ嗣デ警備司令

小松大佐ノ祝辭ヲ述べ盛大ニ開館式ヲ終了セリ

發達之速也昔十... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

開館當時ニ於ケル狀況左ノ通

一 邦人關係

十二月一日九江在留邦人ハ五百五十七名ノ多クニ達シタルガ其

ノ大部ハ軍ヲ對象トスル飲食店、酒保、寫眞業、三特種慰安所關

係者ニシテ孰レモ一時的在留者ニシテ就中全人口ノ四〇%ヲ占

ムル所謂特種婦人ノ如キハ軍ノ命令ニ依リ移動シ居レル狀態ナ

ルヲ以テ九江ノ復興乃至繁榮等ヲ樹立スルガ如キハ當分困難ナ

ル實情ニアリ尚舊居留民ハ南潯鐵路關係者二名ヲ除キ他ハ殆ド

復興セルモ一概ニ單身一目下當地ハ廬山及南昌作戰上外支人ノ

復興ハ未ダ之ヲ許可セザルヲ以テ事變前ニ於ケルガ如キ商取引

ヲ爲スコト全然不能ナル爲不得已軍人對手ノ所謂「罐詰品」ノ販

賣」ヲ爲シツツアル狀況ニシテ可及的速ニ對支那人トノ取引開
 始サルルノ時期到來ヲ待チツツアリ軍ニ於テハ此等舊居留民ニ
 對シテハ頗ル同情シ家屋ノ如キモ從來最モ繁華ナリシ大中路ニ
 面セル支那人商舖ヲ好意的ニ割等テ便宜ヲ圖リツツアリ
 又進出邦人ニ對シテモ同區域一帶ヲ日本人居住區域トシテ家屋
 ノ割當ヲ爲シツツアリ支那人復歸ノ上ハ之ガ屋賃等ニ付近ク結
 成セラルベキ自治委員會方面ト協定ノ要アルベク目下特務機關
 ト協議中ナリ從テ當館トシテモ在留邦人統制上速ニ日本人會ノ
 復活ヲ必要トスル次第ニテ目下民會長及民會役員等物色中ナル
 ガ外人復歸ヲ認メザル關係上對外的ニ相當機微ナル關係モアリ
 之ガ復活ニ付テハ慎重ヲ期シツツアリ